

## 日本知能情報ファジィ学会学術図書出版事業の案内

### 1. 学術図書出版事業の主旨

ファジィ理論の創始者である Zadeh 先生の論文は長く学術論文誌で Reject されつづけたが、IFSA や日本知能情報ファジィ学会がこの分野で得られた成果を早くそして広く世に問いつける活動を行ったこともあり、家電製品や地下鉄の制御をはじめとする様々な応用がなされ、またソフトコンピューティングとして更なる発展を遂げつつある。

上記のような役割を果たしてきた日本知能情報ファジィ学会が、意義はあるが商業出版になじまないもの、将来的に学術的価値の出るもの、将来の研究者にヒントを与えるようなもの（含経験談）を発掘し、いち早く世に問うていくことは学会発起の趣旨にもあい、日本知能情報ファジィ学会学術図書として出版することとした。

### 2. 投稿方針

日本知能情報ファジィ学会学術図書への投稿については、日本知能情報ファジィ学会の理念に基づき次のような方針をとっています。

- 1) 原稿の投稿は会員の方に限る。
- 2) 投稿された原稿は、原則として 2 人の査読者によって独立に査読され、その結果によって出版委員会が採否や書き直しなどの決定を行う。出版することになった本には、査読者 2 名の推薦書を帯書として添える。
- 3) 採録時には、電子データを提出していただく。電子データとコピーライトは学会が出版後 2 年間の間、保有する。
- 4) 本は全て投稿者（著者）が購入し、出版にかかる費用は投稿者が負担する。
- 5) 学会は電子データ提出後、投稿者に見積書を送付し、出版意思の再確認を行う。
- 6) 書籍の販売には学会は一切関与せず、責任も持たない。従って、書籍の裏に価格はつけないことを原則とするが、著者より希望があれば価格をつけて出版を行う。ただし、この定価についての金銭的な事項について一切学会は責任を有さない。
- 7) 書店や個人からの注文は学会ではなく著者が受け、著者が必要に応じ、学会に 50 部単位で増刷を依頼し、購入する。学会は取継を行わない。（但し、最初の出版後 2 年間とする）
- 8) 誤植への対応は査読しなおさないといけないものについては、再投稿いただく。
- 9) 原稿は著者が責任を持って編集まで行い、規定のフォーマットの電子データとして学会に提出。学会はその電子データを出版会社に持ち込み、印刷・製本を行う。編集は原則、学会も出版会社も行わない。
- 10) ISBN 番号の登録は学会が行う。
- 11) 学会は、本書籍の広告を「知能と情報」および学会ホームページで適宜行うものとする。また、学会はアナウンスも自由にできるものとする。
- 12) 投稿原稿は、未公刊のものに限る。

### 3. 出版物の種類

具体的な出版物は以下のとおりとする。

- 1) 学術書：一つのトピックスについて深く研究したモノグラフ
- 2) 講義録：知能情報およびソフトウェアコンピューティングに関連したテキスト
- 3) 啓蒙書：将来の研究者にヒント(ノウハウ、経験談等)を与えるような著作物

書籍の使用言語は、和文、英文いずれも可とする。

#### 4．クレーム

投稿原稿の取り扱いや査読結果について不満がある場合には、投稿者はクレームをつけることができる。クレームは投稿先あてに文書をもって行う。クレームに対しては、出版委員長が文書をもって回答する。

#### 5．投稿方法

必要事項を記入した「投稿申し込み書」と原稿 4 部（すべてコピーでも構いませんが、鮮明なもの）を次のあて先にお送りください。

〒259-1292

平塚市北金目 1117 東海大学電子情報学部情報メディア学科

菊池 浩明

（「日本知能情報ファジィ学会学術図書投稿原稿在中」と朱書きのこと）

また、「投稿申し込み書」の内容をテキストファイルとして、電子メールにて次のあて先にお送りください。

あて先： [soft-text@cs.dm.u-tokai.ac.jp](mailto:soft-text@cs.dm.u-tokai.ac.jp)

なお、査読結果の通知など、投稿者への連絡は原則として電子メールで行うものとする。

#### 6．電子データの提出

採録された場合には、

- 1) 電子データ
- 2) その出力原稿（字体や外字などの指定をしたもの）とコピー 2 部
- 3) 著者紹介用の写真

を指定の所に提出していただきます。詳細は採録時にお知らせします。

#### 7．著者校正

著者校正は初校のみとする。校正の際、追加・変更は認めない。

#### 8．発効

2005 年 10 月 1 日より本投稿案内に基づいて投稿原稿を処理する。

以上